

第1章

第4節

野々市市を取り巻く社会動向

中間見直しの視点

本市を取り巻く社会動向は変化を続けており、その変化を各政策や施策に反映させるため、本市の現在の状況を整理します。

野々市市を取り巻く社会動向

平成27年国勢調査の結果で、我が国の人口は1億2,709万人となり、大正9年に調査を開始して以来、初めて人口が減少に転じ、本格的な人口減少時代を迎えています。

このことから国では、大都市に人口が集中し、地方の人口が減少する状況に歯止めをかけ、地域経済のにぎわいや活力を維持するため、「地方創生」の取り組みを進めています。

本市を取り巻くさまざまな社会動向

【国レベル】

- 日本全体の人口の減少に伴う地方創生の推進
- 一億総活躍社会の実現
- 女性の活躍推進
- 働き方改革 など

【県レベル】

- 北陸新幹線金沢開業
- 石川県長期構想の策定 など

【広域レベル】

- 連携中枢都市圏*の形成 など

【本市レベル】

- まちづくり基本条例の制定
- 野々市中央地区整備事業による新図書館、新中央公民館の整備着手
- 新たな土地区画整理事業*の推進 など



第1章

第4節 野々市市を取り巻く社会動向

こういった社会動向を背景に、地方分権^{*}時代において、地域の特性を生かした特色ある自立^{**}型地域づくりの重要性がますます高まっています。

本市でも、本市の強みを最大限に生かしたまちづくりを推進し、将来的な人口減少への対応や、現在のにぎわいの維持に取り組んでいく必要があります。



▲北陸新幹線金沢開業



▲連携中枢都市圏の形成



▲野々市中央地区の文化交流拠点施設「学びの杜のいち カレード」